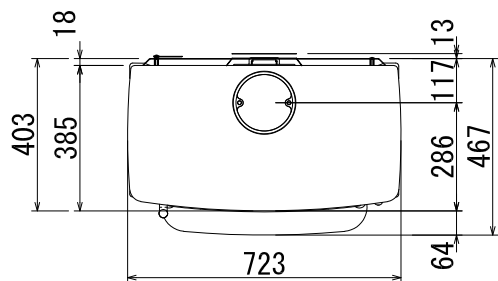
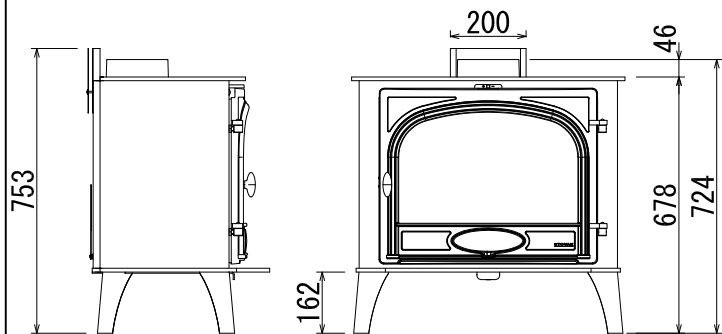


床面保護範囲
 前方／350mm
 側方／150mm(全幅1023mm)
 炉台不燃材／熱抵抗値
 $R=0.09\text{m}^2\text{K/w}$ 以上
 普通イガ 60mm／ $R=0.0967\text{m}^2\text{K/w}$

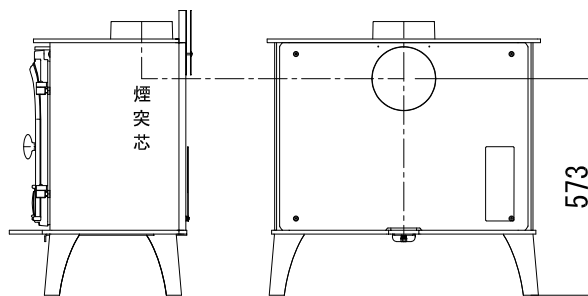


平面図



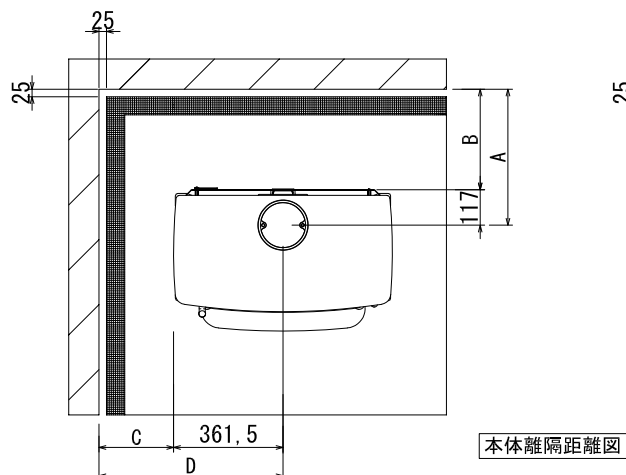
側面図

正面図

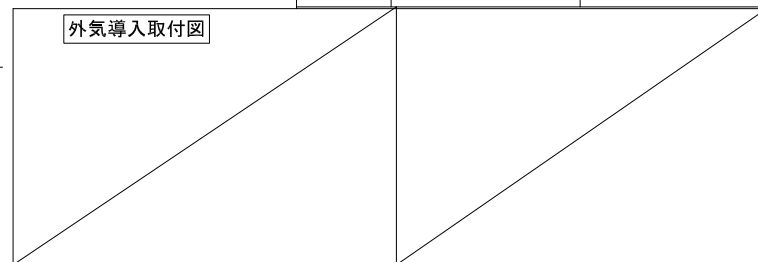
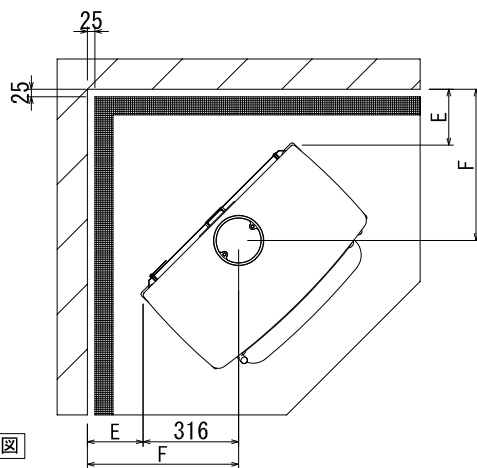


側面図

背面図



本体離隔距離図



機種名	Stockton 11	
材質・色	鋼板/鋳鉄・マットブラック	
品番	721-236	
基本性能	燃焼方式	クリーン/輻射式
	熱出力kW(最大熱出力)	定格 8 (11)
	燃焼効率 %	76.2
	エネルギー効率クラス	A
	最大薪長さ cm	50
ECODESIGN PLUS	PM・12mg/m ³	NOx・92mg/m ³
	OGCs・62mg/m ³	CO・0.11%
製品規格(最大)	幅 mm	723
	奥行 mm	467
	高さ mm	724
	本体重量 kg	160
煙突仕様	接続煙突径 mm/inc	152/6
	煙突接続方向	上・後
オプション		

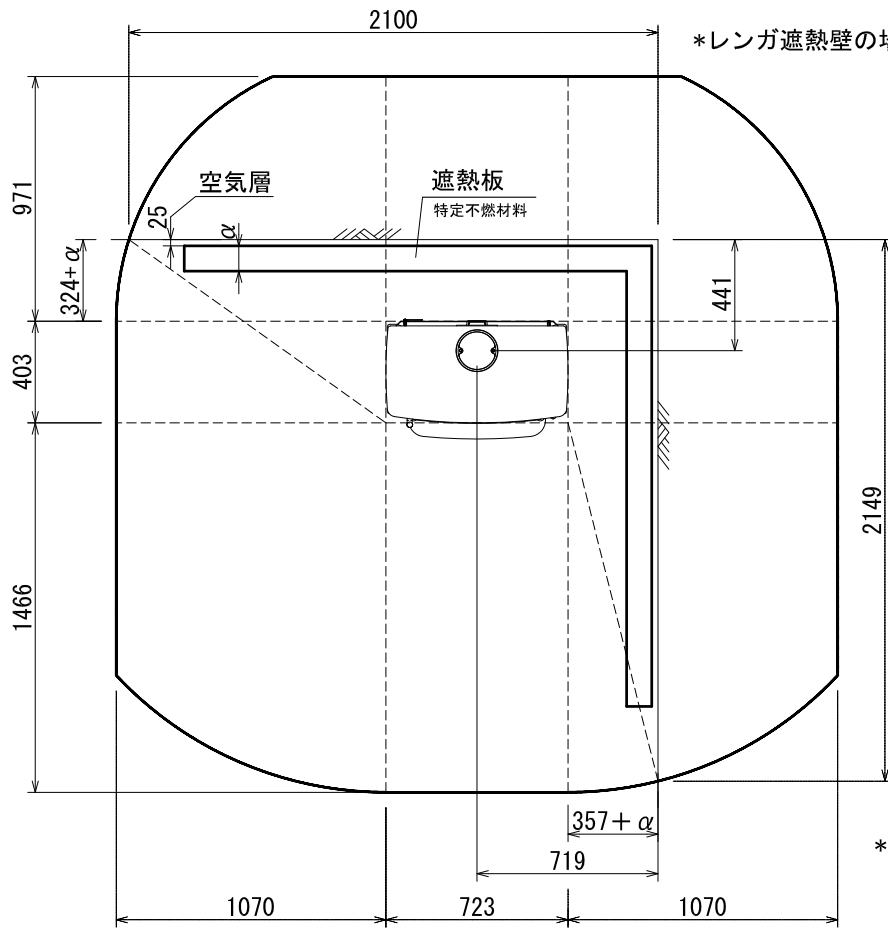
壁仕様	煙突仕様	煙突垂直立上げ+標準ヒートシールド仕様 本体離隔距離(mm)					
		A	B	C	D	E	F
可燃壁	シングル煙突	532	415	500	862	500	816
	二重煙突	517	400	500	862	500	816
不燃壁	シングル煙突	532	415	171	532	217	532
	二重煙突	243	126	126	488	126	442

※不燃壁とは25mmの空気層を設けストーブ設置面から高さ1200mm以上、または、本体より300mm以上を確保した遮熱壁のことを示します。
 ※ストーブ前方の可燃物までの離隔距離は、本体ガラス面より1220mm以上を確保してください。
 ※室内の気圧が負圧にならないよう、換気量に応じた吸気口を設置してください。
 ※本体離隔距離は試験値であり、保証値ではありません。
 ※上記不燃壁の離隔距離は、遮熱壁上部可燃壁と煙突の安全離隔距離、本体から可燃壁までの安全離隔距離、それぞれを満たした数値となります。

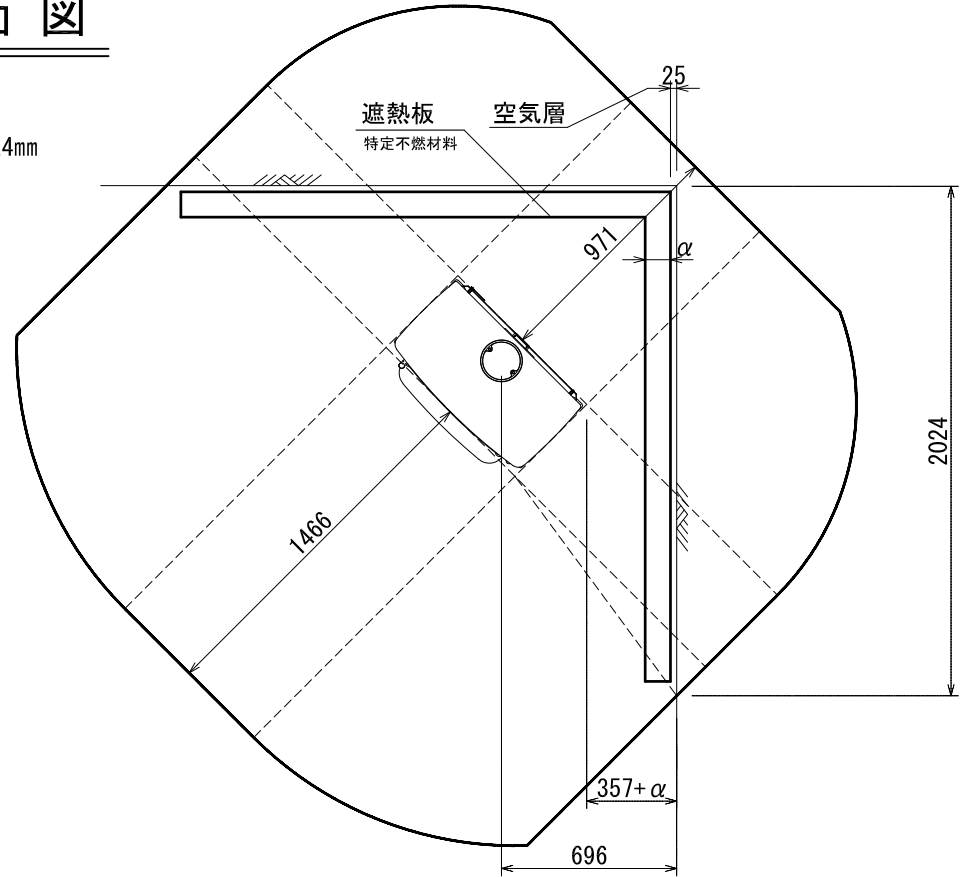
***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。

平面図



*レンガ遮熱壁の場合、357mm/324mm



*レンガ遮熱壁の場合、357mm

*: α はレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。
 遮熱壁の幅は、素材の厚みによって変化します。
 該当するレンガを使用した場合、離隔距離の1/3が内装壁面までの最少距離となります。

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

STOVAX:721-191 STOCKTON 11 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A v		A h	H s		
側面	正面		側面	正面	背面
198,660mm ²	373,068mm ²	291,369mm ²	1,070mm	1,466mm	971mm

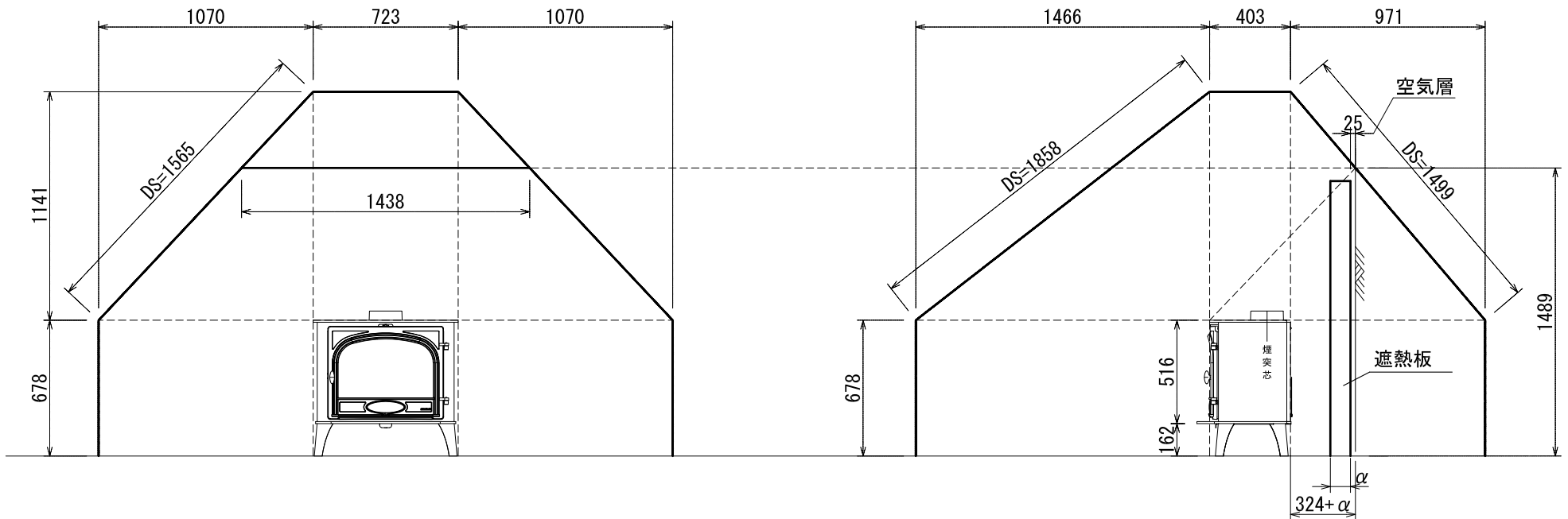
Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
 Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	STOCKTON 11 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。

正・側面図



*: α はレンガ以外の不燃材遮熱壁の厚みを差します。

* 遮熱壁に高さは、遮熱壁の素材の厚みによって変化します。

該当するレンガを使用した場合、離隔距離の1/3が内装壁面までの最少距離となります。

遮熱壁必要高さは、遮熱壁の厚みによって前後します。

* レンガ遮熱壁の場合、324mm

ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が有効に遮熱遮断されている場合、室全体における壁・天井の内装仕上げについては、難燃材料又は木材等で仕上げる事が出来ます。

STOVAX:721-191 STOCKTON 11 内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A v		A h	H s		
側面	正面		側面	正面	背面
198,660mm ²	373,068mm ²	291,369mm ²	1,070mm	1,466mm	971mm

Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	STOCKTON 11 内装制限告示内容に基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種 Stockton 11

最大熱出力/時間

9 Kcal/h

11.0 Kw

最大熱出力/ 秒

2.63 Kcal/s

Av : ストーブ鉛直投影面積

$$\mathbf{Av} \quad (\text{側面}) = 385 \times 516 = 198,660 \text{ mm}^2$$

$$\mathbf{Av} \quad (\text{正面/背面}) = 723 \times 516 = 373,068 \text{ mm}^2$$

Ah : ストーブ水平投影面積

Ah = (アッシュリップ、リアヒートシールドを含めた最大奥行き) × (最大横幅)

$$\mathbf{Ah} = 403 \times 723 = 291,369 \text{ mm}^2$$

Ls : ストーブ等可燃物燃焼水平距離

$$\mathbf{Ls} \quad (\text{側面}) = 2.4 \times \sqrt{\mathbf{Av}(\text{側面})} \quad \doteq \quad 1070 \text{ mm}$$

$$\mathbf{Ls} \quad (\text{正面}) = 2.4 \times \sqrt{\mathbf{Av}(\text{正面/背面})} \quad \doteq \quad 1466 \text{ mm}$$

$$\mathbf{Ls} \quad (\text{背面}) = 1.59 \times \sqrt{\mathbf{Av}(\text{正面/背面})} \quad \doteq \quad 971 \text{ mm}$$

$$\mathbf{Ls} \quad (\text{ガラス側面}) = \quad \times \quad \sqrt{\mathbf{Av}(\text{側面})} \quad \doteq \quad 0 \text{ mm}$$

Hs : ストーブ等可燃物燃焼垂直距離

$$\mathbf{Hs} = 0.00106 \left(1 + \frac{1000000}{\mathbf{Ah} + 80000} \right) \mathbf{Ah} \quad \doteq \quad 1141 \text{ mm}$$

Ds : ストーブ等可燃物燃焼基準距離

Ds = 図面を参照ください。

発熱量、15,480kcal/s 以下のストーブ